

みづゑ

第六十七

明治四十三年十月三日發兌

學生用の繪具

大下 藤次郎

水彩畫の寫生に、繪具が良いから必ず佳作が出来るといふ譯はないが、使用する材料があまりに粗惡であると、自然の色彩を畫面に傳へることが出来ない故に、タトへ稽古でも、繪具の良否について多少研究して置かねばなるまい。

多くのアマチュアは、私共の繪を見て、何と何の色を使つたかと質問せらるゝが、私共の着色の當時は、パレットの上に在る種々なる彩料が、多少共混交せられて、一種分解することの出来ぬ色が出るのであるから、明確なお答は爲し得ない、そればかりでなく、問者の使用せる繪具と、私共のものと、種類や性質に相違があつたなら、タトへ明らかにお答しても、それによつて問者は満足な發色を得ることが出来まい。

併し、學生諸君が、所謂美術家用と稱する高價な彩料を、ドシ／＼使用することは不可能な事情もあらうし、また必ずしも、高價な繪具を要すまい、質の幾分粗い位ひは我慢せねばならぬ、たゞ其發色さへ標準色と一致すればよいのである。

學生用としての理想的繪具は、現今の處では得られない、數年前迄は、佛國ブランシ會社から、菱形にBの印のついたチューブ入が輸入されたが、價格の競争から和製に壓倒されたゞ商標のみ残つて、今は全く舶來せぬことになつた。其本家を壓倒した、所謂五錢のチューブは、ある二三の色を除いては、甚しく不透明なる粉末が混入せられてあるため、たゞに其本然の色調を出さぬのみでなく、出來た繪が往々濁濁して、不愉快

な結果を呈する。同じブランチ會社の大形チューヴは、二三を除いては充分使用に適するが、何故か多く輸入されない、また價も少し高い。英吉利のローニー會社の製品は、和製品程の低い價のために多く使用された様であるが、これとても満足な色は少ない、且現今では、菱形B印と同じく、たゞ鉛筒のみ輸入して、中味は粗悪なる和製繪具を詰めるのであるとの話をきいた。それで、割合に使用に耐へやうと思はるゝ、ニユートン製の、學生用チューヴの數種について、其適否を調べ、學生諸君の御参考に供することゝした。

チャイニスホワイト (Chinese White.)

質は粗いが使用上差支はない。粘りが強いから、水胡粉の少量を混ぜて練つて使へばよい。

ガンボーヂ (Gamboge.)

黒すんで發色が悪い。雌黄を使つた方が、色もよく且價も廉である。

エルローオークル (Yellow Ochre.)

發色はあまりよくない、使用に耐へぬといふ程でもないが、これは高い繪具を使ふ方が安全であらう。

レモン・エルロー (Lemon Yellow.)

レモン・エルローは明るい方や暗い方や數種あるが、學生用としてはたゞ一種のみである。美術家用のミッドルといふのに相當する發色で、少し光澤が乏しいが使用に耐へる。

インヂアン・エルロー (Indian Yellow.)

通例仲びのよい繪具であるが、學生用はそれ程にない。使用して差支なく、發色も大して相異を認めない。

クローム・エルロー (Chrome Yellow.)

少しく赤味を含むではあるが、發色は可なりで、使用に耐へやう。

カドミウム・エルロー (Cadmium Yellow.)

カドミウム・オレンジ (Cadmium Orange.)

クロム・オレンジ (Chrome Orange.)

此三色は立派に區別のあるべき筈であるのに、學生用の分は、たゞカドミウム・オレンジが稍や黄を含むといふだけで、三色殆ど同一色調を呈し、且標準色と遠ざかること甚しく、其發色も不愉快である。使用しない方が安全であらう。

ライト・レッド (Light Red.)

粗いといふだけで、發色に相違を認めない。

ヴァーミリオン (Vermilion.)

少しく暗いが使用に耐へる。

カーマイン (Carmine.)

黄が含み過てゐる。分子は割合に細かい。我慢して使へやう。

クリムゾン・レーキ (Crimson Lake.)

色調は可良である。

ピンク・マダー (Pink Madder.)

粉ッほく、色はやゝ紫が勝つて、純粹の透明色であるべきものが、殆ど不透明の感を呈してゐる。ある花など畫くに使用したら面白からうが、これをピンク・マダーの正色として用ふることは出来ない。

バアント・シーナ (Burnt Sienna.)

少しく暗く、且分子が非常に粗い。紙の上にムラが出来さうで結果はよくあるまい。

ブラオン・マダー (Brown Madder.)

是は一層ドス黒く、且一層粗い。發色も相違してゐる。使用せぬ方がよい。

エメラルド・グリーン (Emerald Green.)

發色が冴えない。至つて力が弱い。此色は腐ると白緑のやうになる。あまり多く入用の繪具でないから、所持せぬともよからう。持つなら上等の方が安全である。

クローム・グリーン (Chrome Green.)

使用に耐へる。淡いよい色である。

サップ・グリーン (Sap Green.)

粗く、色はよくないが、使用しても害はあるまい。

フーカス・グリーンの II (Hooker's Green. 2.)

濁つてゐる。少し位ひ使用するのは可からうが、あまり勧めたくない。

インヂゴ (Indigo.)

殆ど同一色調。分子も細かいやうである。安心して使用される、但インヂゴは褪色することがあるから、其點は請合へぬ。

プルシヤン・ブルー (Prussian Blue.)

是も美術家用と同一現象にて、差支なく使用される。

コバルト (Cobalt.)

コバルト・ブルーと、コバルト・ブルースカイといふ二種あつて、一は半透明に、他は不透明であるが、學生用としては、單にコバルトと稱するもの一種に過ぎない。この色はコバルト・ブルースカイといふ方に似てゐて、不透明である。色は少しく紫がよつてゐる。日本の春の空などには、却て學生用の方がよい場合もあらう。遠景に用ふるは可なれど、近い處の蔭の色には不向で、また他の繪具と合せて用ふるのにも、色を濁らす恐れがあるから注意を要する。

オルトラマリン (Ultramarine.)

オルトラマリンの純粹なるものは、チューヴ一本で拾圓あまりもする、それゆへ美術家でもフレンチブル
ーを代用してゐる。學生用の品は、分子が少しく粗いといふだけで、發色は可なりである。

ニュートラル・チント (Neutral Tint.)

稍赤味を含むてゐるが、分子は細かい。元來この繪具を多用すると、繪が乾燥に見え、且色の感じも寒く不愉快になるから、なるべく使用せぬ方がよい。

ヴァイオレット (Violet.)

少しく暗いが使用に耐へやう。併しこの色は使用する場合が極めて少ない。

パープル (Purple.)

蔭影の色に、他の彩料と混ぜて用ひて差支ない。

セピア (Sepia.)

充分使用に耐へる。

試みて見た繪具は以上の二十七種である。

試みといふたとて、單にワットマン紙の上に押出して、其發色を比較したのに過ぎないから、褪色の遲速や變化などは分らない。また混交によつて生ずる變色の有様も分らない。たゞ、如何なる佳良の繪具でも、混交の仕方や着色の方法が悪くては、溷濁變色等は免れないから、寫生の時は、繪具の扱方に慎重の注意を拂つて貰ひたい。

和製繪具だからとて決して舶來品に劣るとは云へぬが、當業者の話では、第一原料は皆外國から仰ぐので、日本特産のものは殆ど無い。また繪具を入れるチューブも、日本で作つては引合はぬ。原料入物も外國から來るのでは、たゞ繪具を造る手間だけの話でソレは高の知れたものである、而して二重に關稅を取られるよりも、出來た繪具を直接取よせた方が却て廉價である、其上今の處、外國製よりも立派なものが出來る見

込がなく、よし出来ても價が安くないと誰れも日本品を顧みぬ傾向があるから、到底當分見込なしだといふのである。如斯事情のあるに掲はらず、和製品を廉價に供給しやうといふには、勢ひ混合物によつて量を増し、品質を悪しくするより道がないのであろう。私は、一目も早く完全なる和製品の出来る事を希望するが、同時に、舶來といふ假面をつけて需要者を欺き、粗悪なる彩料を市場に供給する、不眞面目なる商人の所爲を憎むのである。

談
片

○ 客觀的寫生は往々寫眞になりたがる、主觀を以て畫いたのでは、寫されたものがいつも同一の調子になる、繪は主觀を透して客觀を掴むものでなくてはならぬ。

○ 風景を見る、穩やかな感じだと思つて畫架を据へる、其繪は終り迄初めの感じを忘れずに畫かなければいけぬ、出來上つた繪に最初に感じた穩やかといふ心持が出なければいけぬ。

○ タトへ自分は暗い處に興味を持つてゐても、いつも暗い處ばかり畫いてゐては、終には調子を忘れて、段々眞暗な繪が出来るやうになる、自己の趣好によつて専門に入るのはよいが、時には明るい處も畫いて見る方がよい、されば暗い處を畫く上に於ても、必ず利益も發見もあらう、修業中は好きだからとて一方に片よるのはよくあるまい。